

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立南波多郷学館
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・本年度は南波多郷学館9年プランの【充実期】(開校4～6年)である。                  到達目標3:郷学館で学ばば児童生徒の力が確実に伸びる・・・「南郷チャレンジ」の取組を計画的に進めたことで学習状況調査において「思考・判断・表現力」は県平均を上回った。                  到達目標4:郷学館に勤務すれば教職員の指導力が確実にアップする・・・ICTを取り入れた指導に積極的に取り組み、マイプランの成果指標を達成した教職員は8割に達した。                  到達目標5:郷学館の教育活動が南波多の教育振興につながる・・・地域に出かける奉仕活動に取り組むことで社会参画が昨年度より進んだ。                  ・業務改善については十分な成果が上がったとはいえず、今後、取り組みを改善し、働き方改革を進めていく必要がある。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	「ふるさと南波多を愛し、夢・志をもつ児童生徒の育成」 ～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>1 「夢」を語り・学び続ける郷学館                  2 わたしたちの郷学館は、わたしたちが創る                  3 地域とともに創る郷学館 「コミュニティ・スクール」先進校                  4 伊万里の「ひと」と「学校」をつなぐ</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○児童生徒が学び合う学習の充実による思考力・表現力の向上	○学習アンケートにおいて、自分の考えを表現することに関する項目において肯定的な回答をする児童生徒70%以上。 ○各種学力調査の「思考力・判断力・表現力」に関する問題の結果において、全国や地区平均以上。	・朝の時間を活用し、ステージごとに基礎・基本の定着や活用力を高める問題に取り組む。 ・授業の中で、自分の考えを伝え合い、考えを深めさせる学び合い活動を取り入れ、授業改善を図る。	・	・	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートにおいて、「命や思いやりの大切さについてしっかりと考えることができている」と回答する児童生徒80%以上	・教育活動の中で、ほめる(認める)機会を大切にし、児童生徒の自己肯定感を高める。 ・各学年の発達段階に応じた道徳科の授業、人権・同和教育「心のひろば」を実施し、児童生徒の人権意識を高める。	・	・	・	・	・	・	道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各担任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事実対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・本校のいじめ防止対策基本方針をもとに、いじめの定義、寛知、認知及び対応について共通理解を図り、全職員で対応する。 ・定期的(心のアンケートや教育相談)を実施し、いじめの早期発見を行う。	・	・	・	・	・	・	生徒指導主事 各担任
●健康・体づくり	「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間420分以上の児童(前期課程)60%以上、生徒(後期課程)80%以上	・ウォーキングチャレンジ週間を年2回実施する。 ・外遊びの道具を充実させる。 ・体育の授業や南郷マッチにおいて、児童生徒が自主的な準備や計画を行えるように計画する。	・	・	・	・	・	・	体育主任 体育副主任 各担任
	○感染症予防教育の充実	○学校及び家庭生活において、手洗い・うがい・消毒の習慣がついている児童生徒90%以上	・感染症予防の知識や意義、実践方法を全学年、発達段階に応じて保健指導を行う。 ・健康委員会の呼びかけやポスター作成の支援を行う。	・	・	・	・	・	・	養護教諭 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日を定時退勤日とし、定時退勤を促す。 ・平日の部活動指導を週3回までとする。 ・重複する業務や無駄な業務がないか見直すとともに、分掌内での業務を協働的に進めるようにする。	・	・	・	・	・	・	管理職(教頭)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○自律的に判断し、活動するステージ経営	○ステージリーダーを中心とした各ステージ経営の充実	○教職員のステージ経営の充実及び満足度90%以上。	・ステージ経営方針に沿って、OJTを核とした共通理解と実践を図る。	・	・	
○コミュニティ・スクールとしての活動の深化	○コミュニティ・スクールとしての活動の周知や啓発	○保護者や地域におけるコミュニティ・スクールの活動内容の認知度80%以上。	・学校便りや学校HP、コミュニティ・スクール便り等を通して積極的に情報発信をし、周知と啓発を図る。	・	・	・	・	・	・	管理職(副校長)
○一人ひとりのニーズに応じた個別指導の充実	○特別支援教育の充実	○特別支援学級および通常学級において支援を要する児童生徒への指導・支援の充実が図られた実感する教職員80%以上。	・校内においてケース会議や児童生徒の見取りを行い支援する。 ・関係機関を招聘しての職員研修を充実させ、「誰でもできる特別支援教育」を目指す。	・	・	・	・	・	・	特別支援教育コーディネーター

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------